

第26回 日本・EU議員会議 結果概要

第26回日本・EU議員会議は、日本国会代表団36名、オブザーバー2名と欧州議会对日交流議員団に所属する代表団16名が参加し、2005年（平成17年）5月16日（月）及び17日（火）の両日、衆議院第15委員室において開催された。

あらかじめ日欧間の合意により、国際政治・安全保障（第1セッション）、経済・貿易関係（第2セッション）、日欧協力（第3セッション）の3つのテーマに関する議題が設定され、会議は、各議題について日欧双方の担当議員による冒頭発言を聴取した後、参加者全員による自由討議を行う形式で進められた。

第1セッションは、5月16日午後2時から3時間10分開かれ、①世界の安全保障問題（イラク及び中東情勢、朝鮮半島情勢、台湾海峡問題等）、②日本の政治情勢（憲法をめぐる議論等）、③EUの政治情勢（欧州憲法条約の批准等）が討議された。議長は中山太郎日本国会代表団団長が務めた。

第2セッションは、翌17日午前9時から2時間30分開かれ、④日本経済の動向（日・EU規制改革対話等）、⑤EU経済の動向、⑥世界経済問題が討議された。議長は、ヤルツェンボウスキー欧州議会代表団団長が務めた。

第3セッションは、同日午後2時30分から2時間開かれ、⑦科学・文化協力（科学技術協力協定、知的財産権の保護、文化の多様性の確保、文化遺産の保護及び芸術の育成に係る国内政策及び日欧協力）、⑧地球環境問題（地球温暖化対策、地球の安全保障）が討議された。議長は、林芳正日本国会代表団副団長とヴィッランコスキ欧州議会代表団第1副団長が共同で務めた。

全セッションの討議終局後、日・EU関係を一層強化し、発展させること等を内容とする「第26回日本・EU議員会議共同声明」が賛成多数で採択された。

なお、以上の会議に先立ち、5月16日に欧州議会代表団は扇参議院議長及び河野衆議院議長を表敬訪問し、席上、日欧関係強化の意思と本議員会議の意義を再確認した。

5月16日から18日（水）までの東京滞在中、同代表団は小泉内閣総理大臣、町村外務大臣、細田内閣官房長官、大野防衛庁長官を訪問し、関心事項について懇談を行った。5月18日には、本年が「2005年日・EU市民交流年」であることにちなみ、「日欧議員と大学生との対話」と題する記念公開イベントを慶応義塾大学において開催した。

また、同代表団は5月19日（木）午前から京都府に移動し、地方視察が行われた。オムロン京阪奈イノベーションセンター、清水寺、金閣寺、裏千家今日庵等を視察し、我が国に対する理解と認識を深めた。